

保護者の皆様

仙台市立栗生小学校

校長 佐藤 朗

「教育活動に関するアンケート結果」について

くりりんの桜のつぼみが、少しずつふくらんでまいりました。保護者の皆様には、日頃から当校の教育活動に、ご理解とご協力をいただきまして、心から御礼を申し上げます。3月を迎え、6年生は3月18日(金)に、また、他の学年も3月24日(木)の修了式に向け、最後のまとめをがんばっているところです。

さて、12月に実施いたしました「教育活動に関するアンケート」につきまして、ご報告いたします。年末のお忙しい中、保護者の皆様には調査にご協力いただきましたことに、深く感謝申し上げます。

★実施日 平成 27 年 12 月 11 日 (金) ~12 月 18 日 (金)

★対象者 仙台市立栗生小学校 保護者

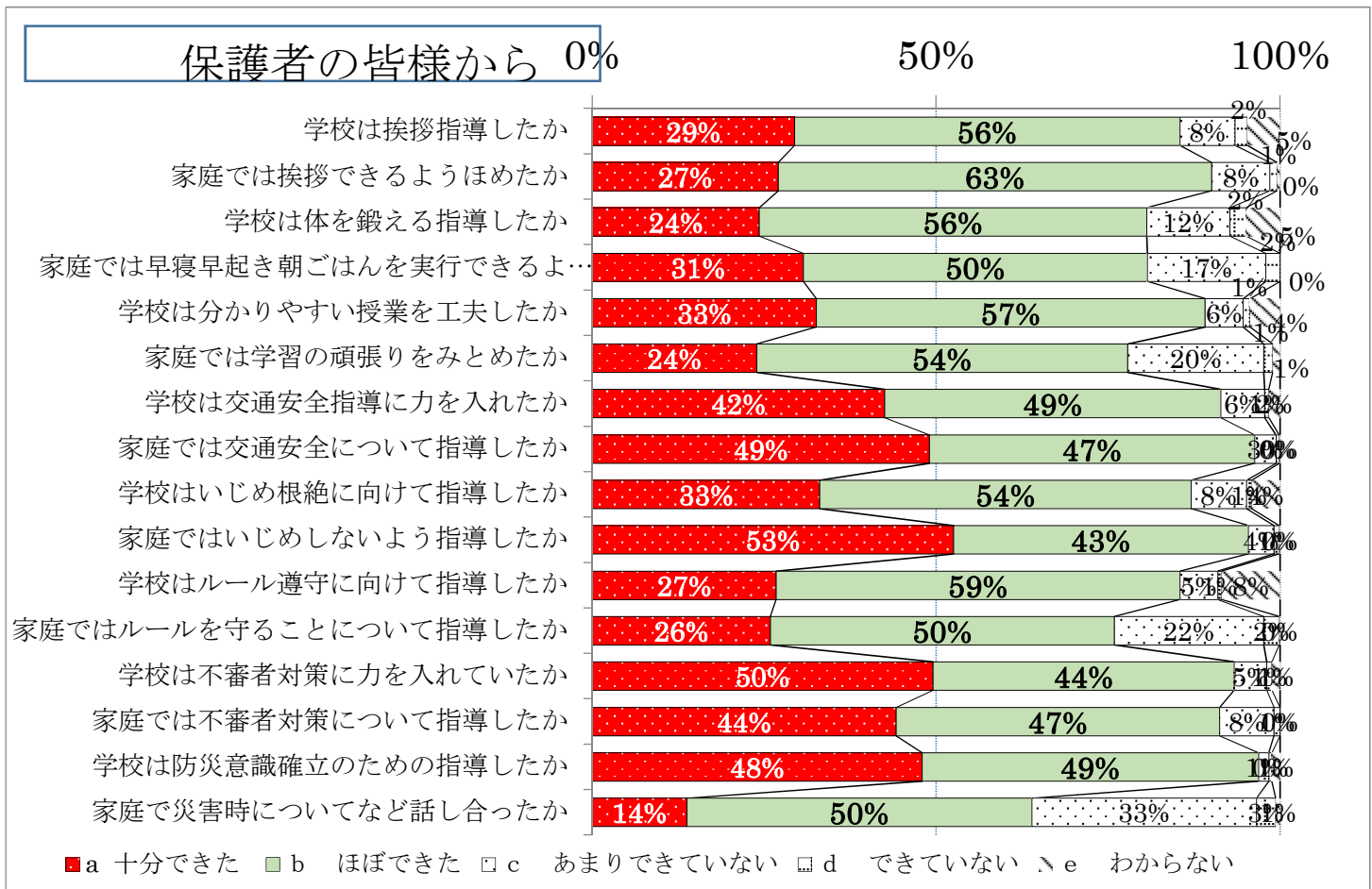
★回収率 96%



1 今年度の協働型学校評価目標について

今年度は下記の事項を重点目標とし、取り組んでまいりました。

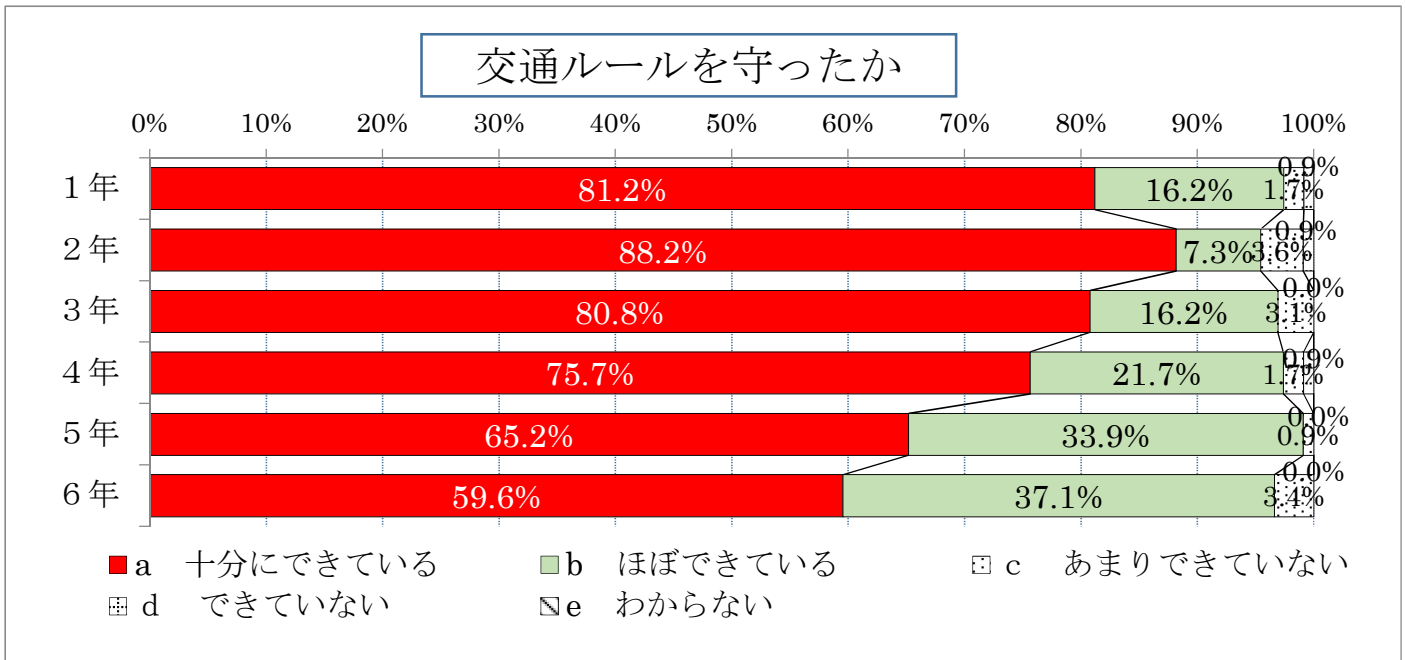
到達目標【より良く生活し、進んで体を鍛えようとする子どもの育成】
今年度の重点目標 ★学校や家庭・地域で安全に、そして安心して生活できるようにする★
 ○交通安全対策 ○いじめ根絶 ○ルールの遵守 ○不審者対策 ○防災意識の確立



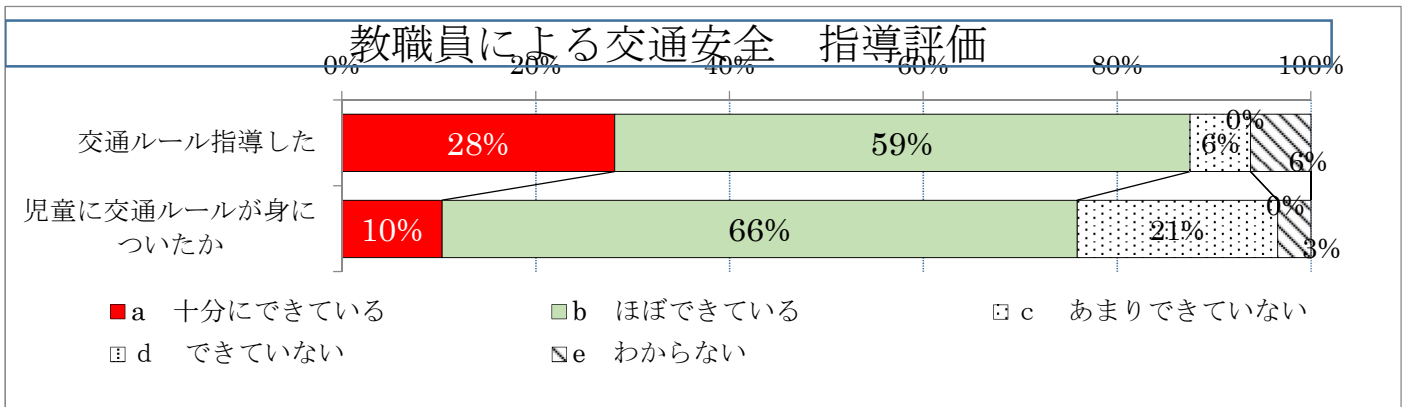
考察1 家庭での指導では「いじめをしないように」「交通安全について」などの評価が高く、協働型学校評価目標を意識していただいたことが分かります。また、学校の指導に対して「不審者対策」「防災意識」「交通安全」などについては高い評価をいただきました。しかし、「家庭での防災意識」や学校での「体を鍛える」に課題があるようです。自由記述でも「もっと遊ばせる時間や工夫を。放課後の延長」などが挙げられていました。学校でも下校時刻の見直しなどを検討中です。

■協働型学校評価 交通安全について

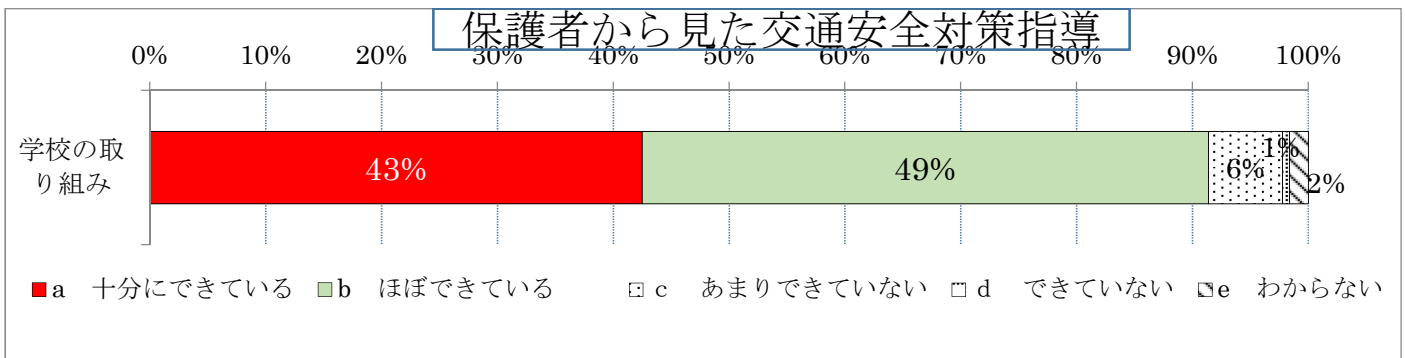
27年度子供たちの自己評価



教職員の交通指導 自己評価



保護者から見た交通安全指導

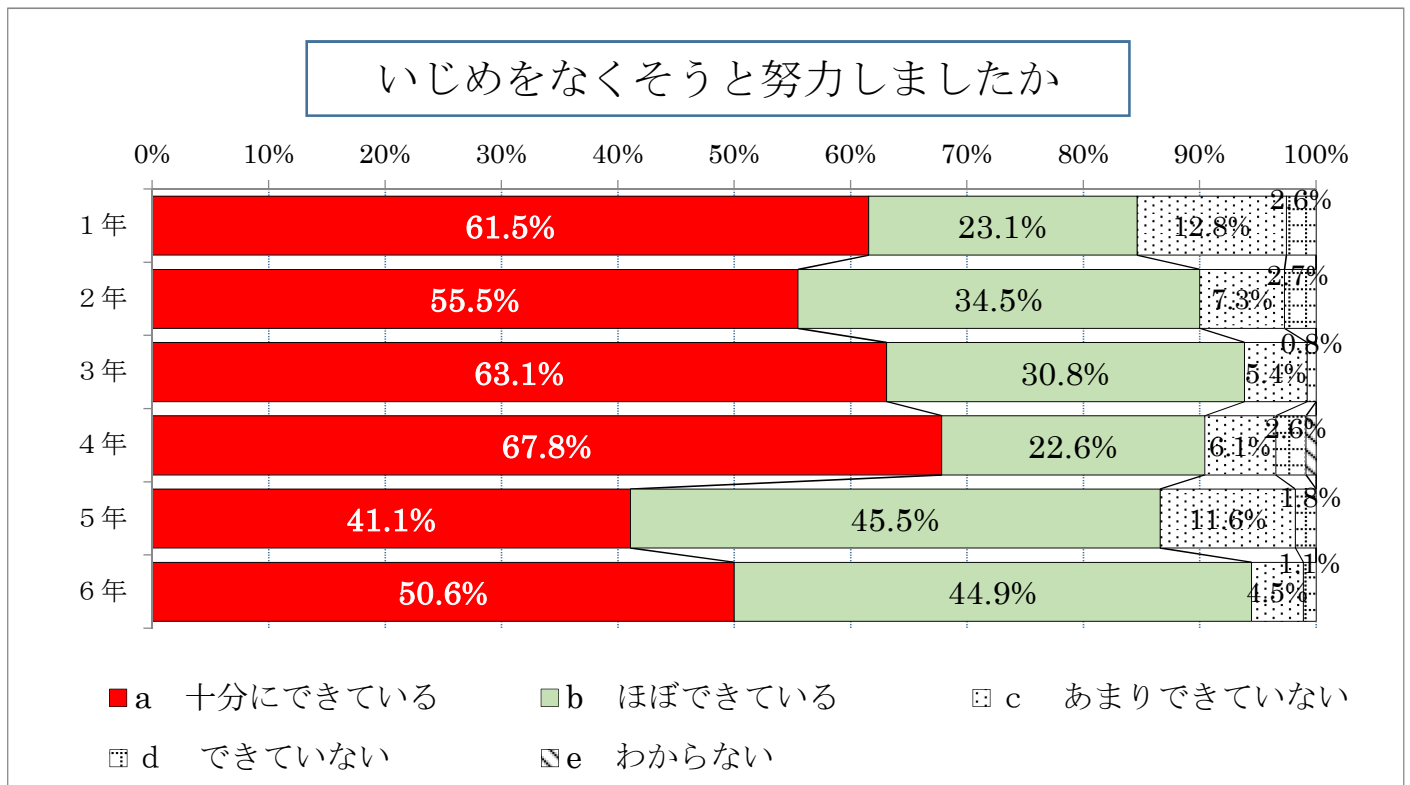


考察2

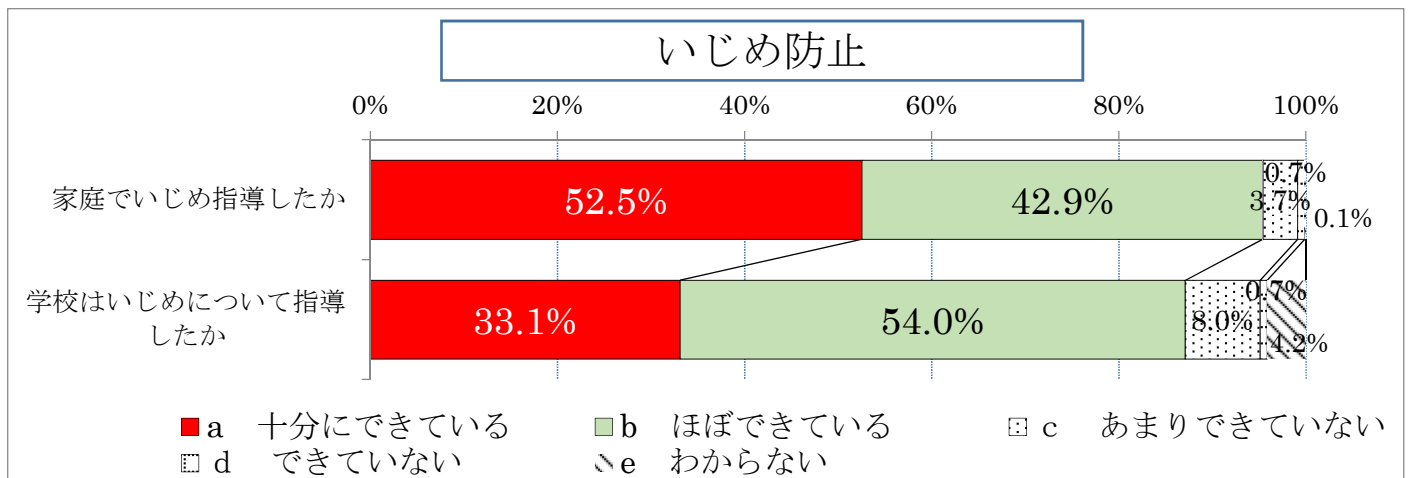
本校の協働型学校評価目標である「交通安全」の評価です。交通安全指導の教育活動に対して43%の保護者から「よくできている」という評価をいただきましたが、教職員は、児童には安全を確保する力が十分身につけているとはいえないと考えていることが分かります。交通安全については、春に警察の方々のご協力で自転車の交通安全指導を2時間かけて行うことができました。また、授業や帰りの会などで随時交通安全について指導を重ねてきた結果、夏休み以降の交通事故が発生していません。昨年度は6件（軽傷の接触含む）の交通事故があったことから比べても成果が見られると言ってもよいのではないのでしょうか。しかし、まだ道路での危険行動がなくなったわけではありません。来年度も課題として取り組んでいきます。

■協働型学校評価 いじめについて

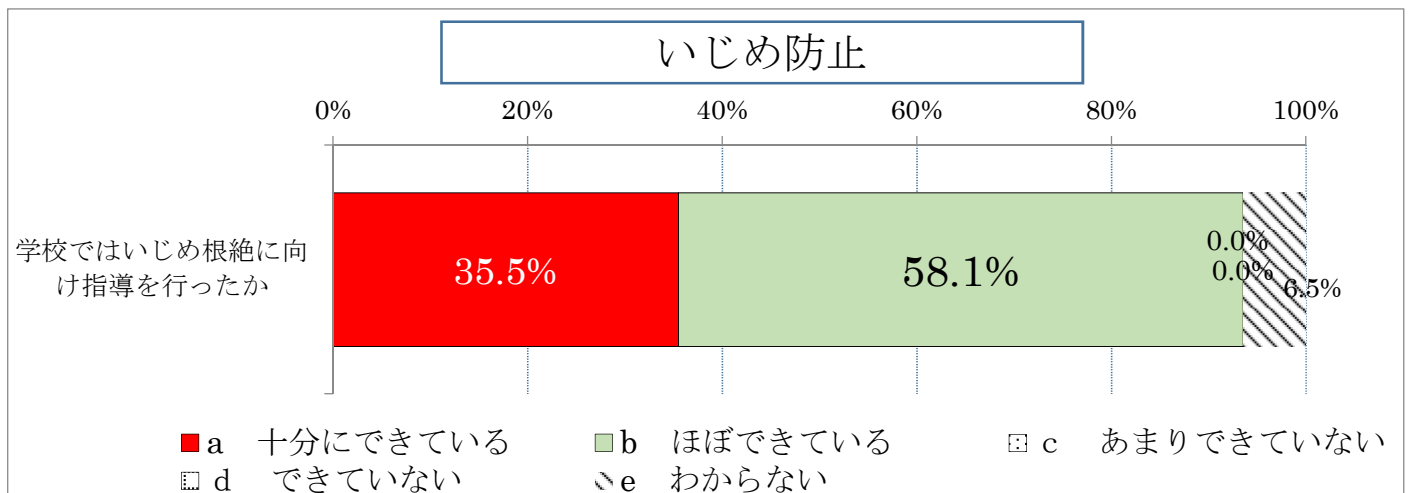
27年度子供たちの自己評価



保護者による評価



教職員自己評価



いじめアンケートについて

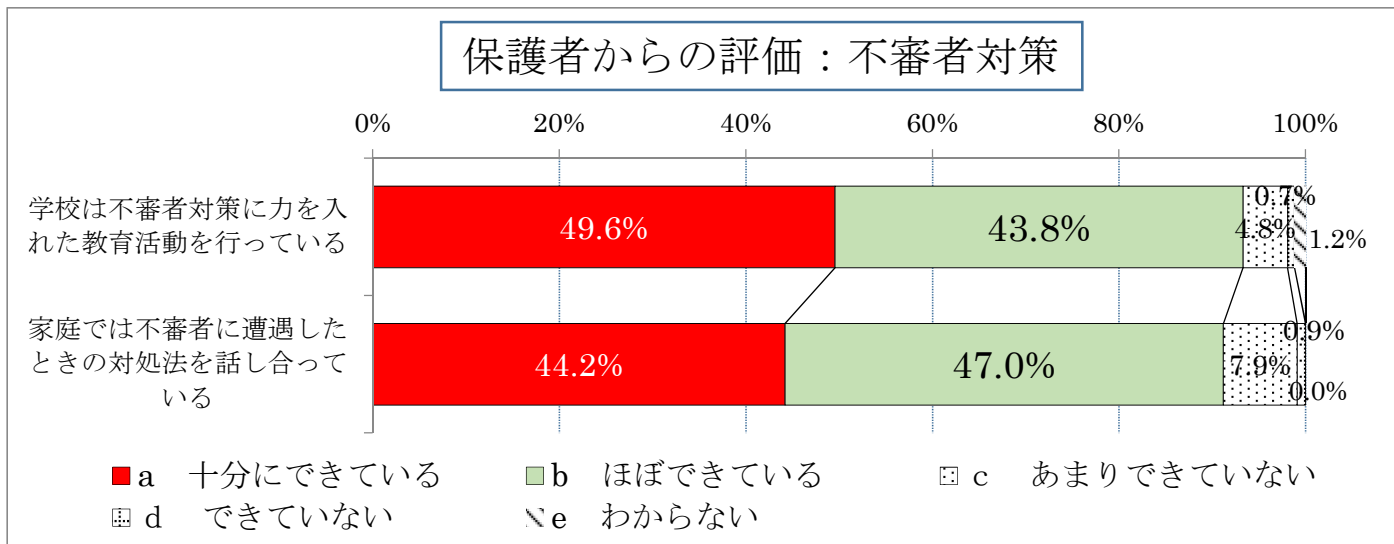
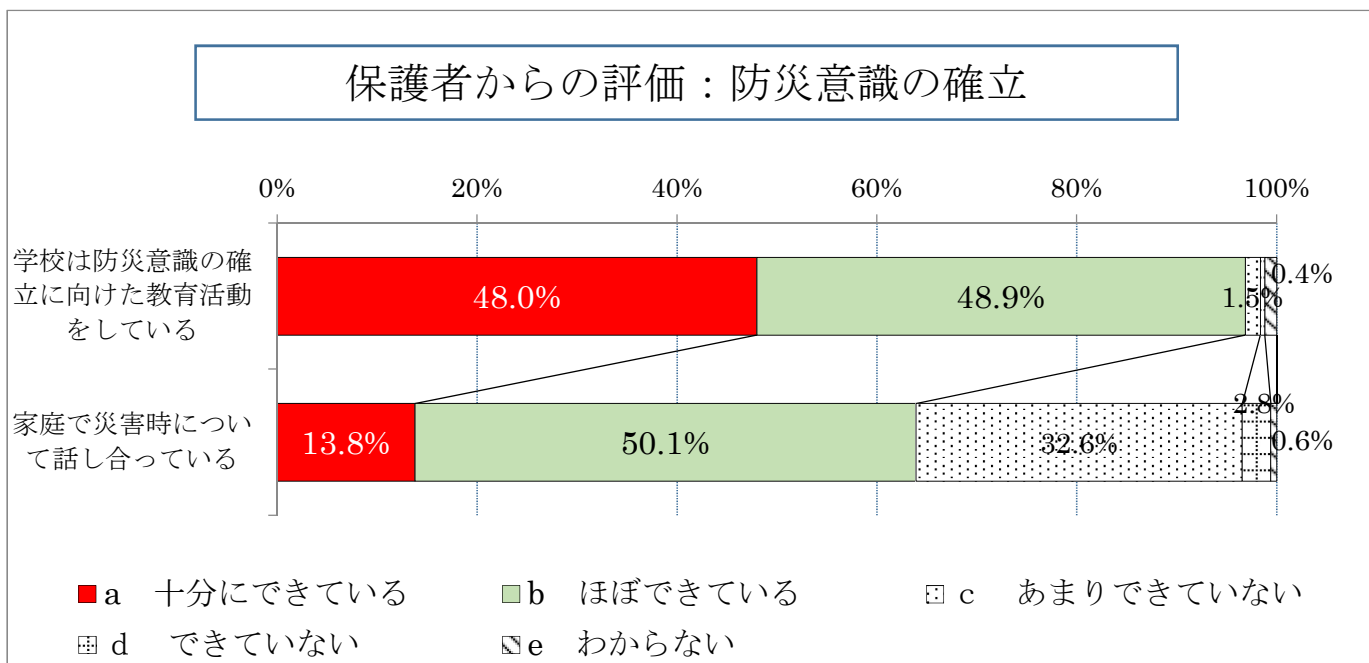
本校では、いじめについての調査を11月28日～12月5日まで実施しました。その結果、「4月から今までの間にいじめられたことがある」と回答した児童は154名、そのうち「今も続いている」と回答した児童は45名でした。「続いている」という児童には、個別の対応、学級全体の指導を通して解消を図ってきました。2月18日現在では、特に重大な案件はないと把握しております。お子さんの様子で気になることがありましたら、学校までご連絡いただきますようお願いいたします。

考察3

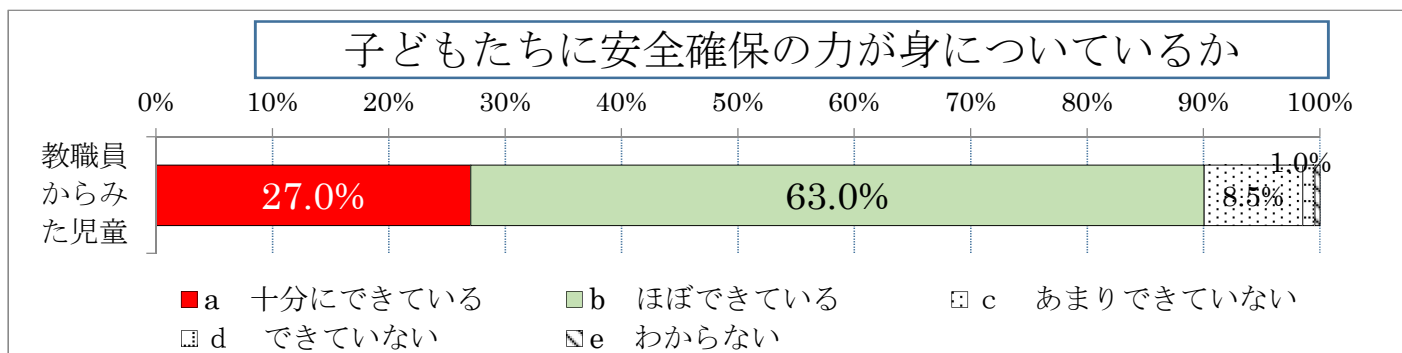
27年度に、初めて「いじめ」についての学校評価を行いました。子どもたちのアンケート結果からは、「いじめはしてはいけない」と認識していること分かります。また、家庭でも「いじめはしてはいけない」という指導がされていることも分かります。教職員は「いじめ根絶」のための更なる指導や工夫が必要と考えています。27年度の「親子学びの講座」には、多数の保護者の方にご参加いただきました。「自分の言ったたった一言が、相手の心のコップをあふれさせる一滴になる」と、弁護士さんからも分かりやすく教えていただきました。指導していても、児童の自己評価からは、高学年になるといじめをなくそうという意識が、下学年より低くなる傾向が伺えますので、今後も継続して指導していきたいと思っております。

■協働型学校評価 防犯・防災意識確立

保護者の評価より



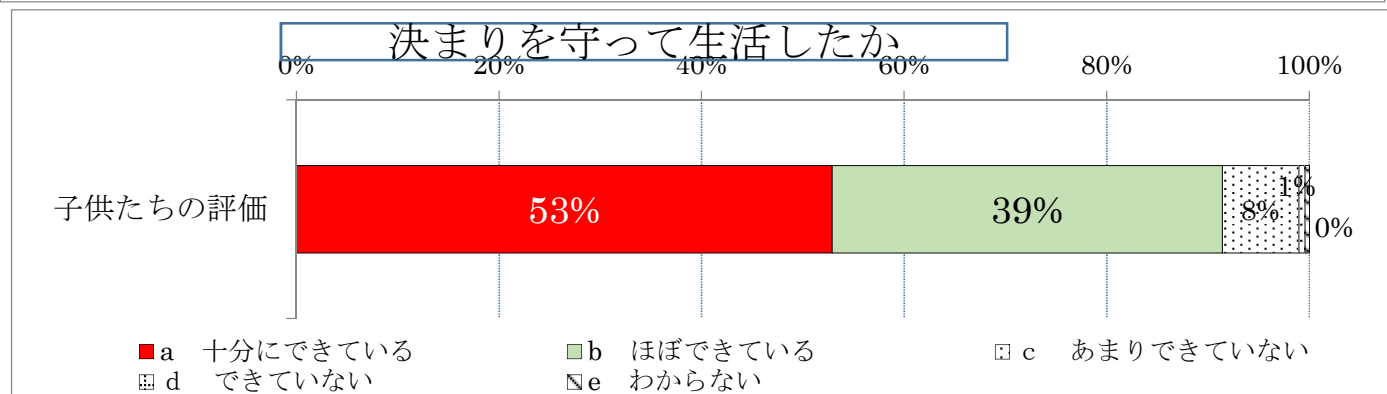
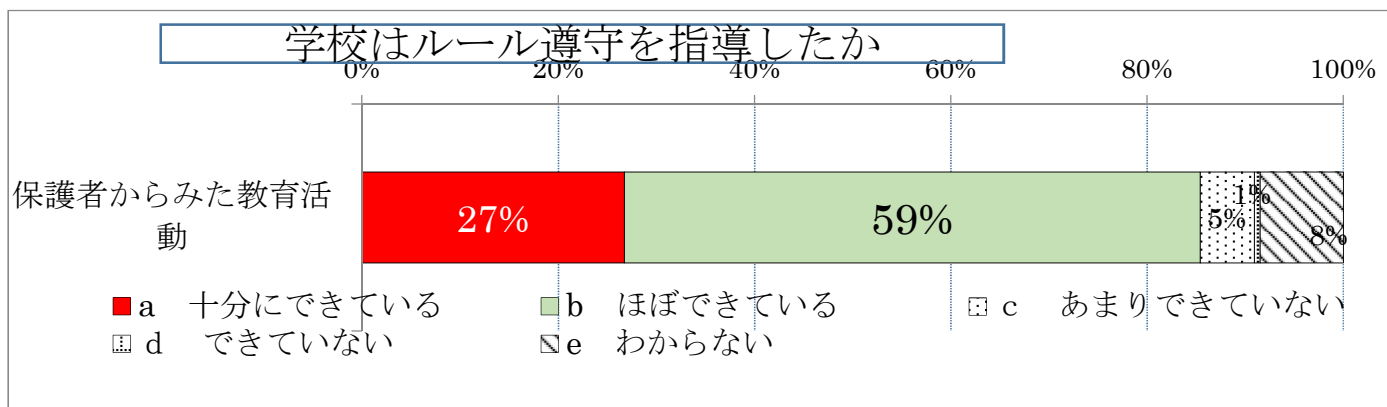
教職員からみた児童への評価



考察4

防災や災害に対する対処の仕方などは、積極的に学校で指導してきました。保護者からも、指導されているという結果が見えます。しかし、教職員から見た児童には、不審者に対処する力が足りないと判断していることが分かります。保護者の自由記述からも昇降口のドアが「解放されていることが多い」と閉め方について指摘をいただきました。昇降口のドアは教職員も児童も閉めていくように勧めていきます。来年度は、さらに教職員児童共に不審者に対する意識を高めていかなければなりません。28年度は「不審者対策」に力を入れ、5月には防犯防災ウィークを設定し、積極的に意識した指導を行っていきます。

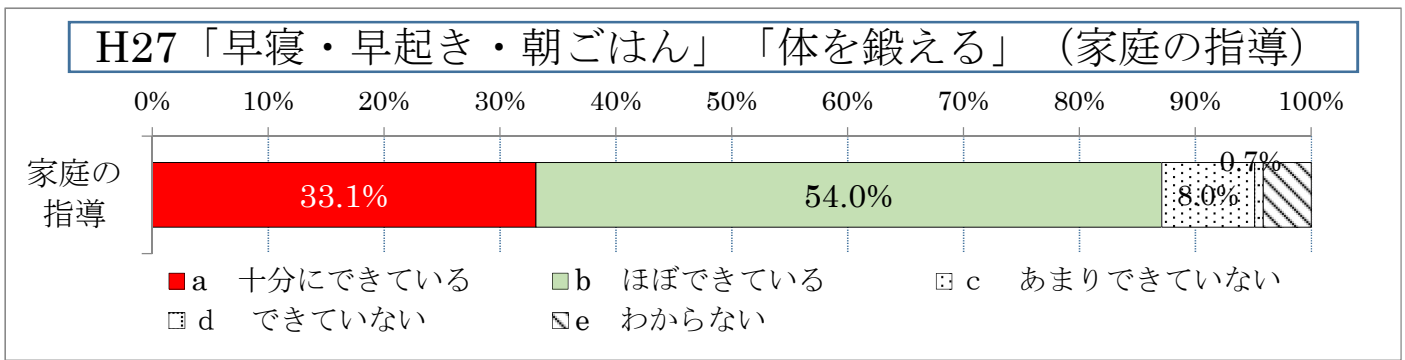
■協働型学校評価 ルールの遵守



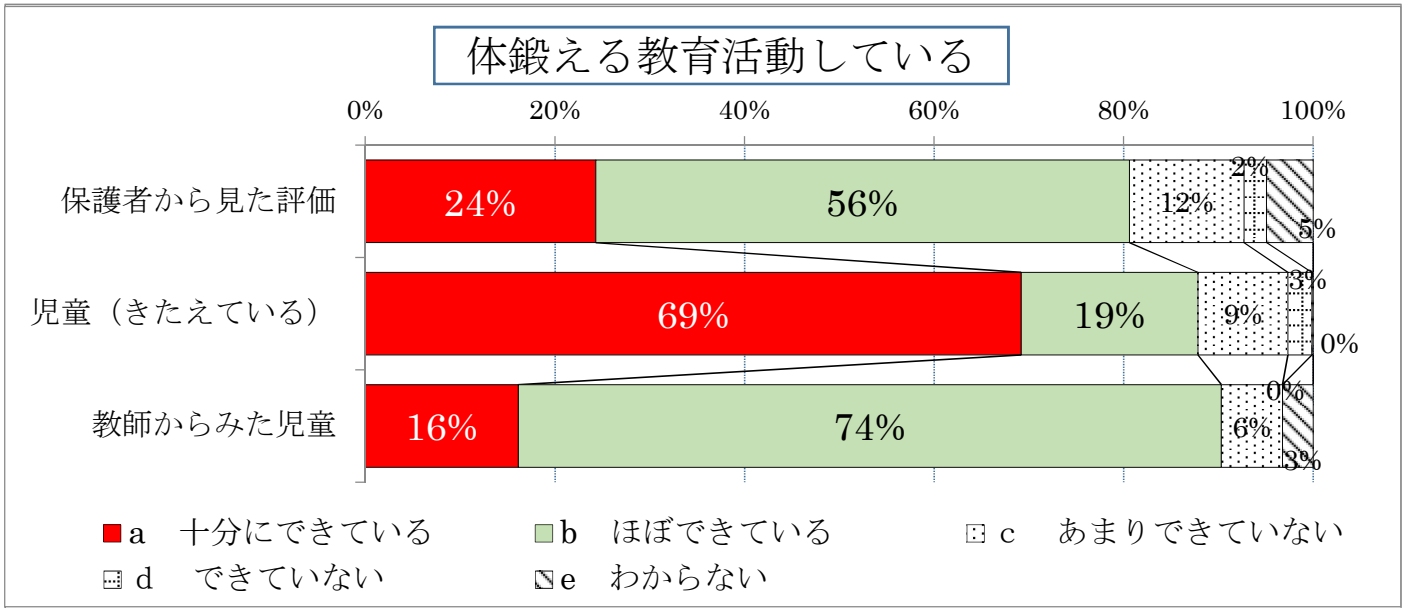
考察5

学校生活の様子を見ると、チャイムを守ることや並んで下膳をすることなど、学校の決まりをよく守って生活しているように見えます。しかし、放課後に雪投げをして怪我をさせることや、地域で石投げなど迷惑をかける行為が見られ随時指導してきました。「決まりを守る」ことについては、道徳などでも重点化して指導していきたいと思えます。

●努力目標 「早寝早起き朝ごはんなど健康に生活しようとする児童」に関する評価



H27 保護者・児童・教職員の評価

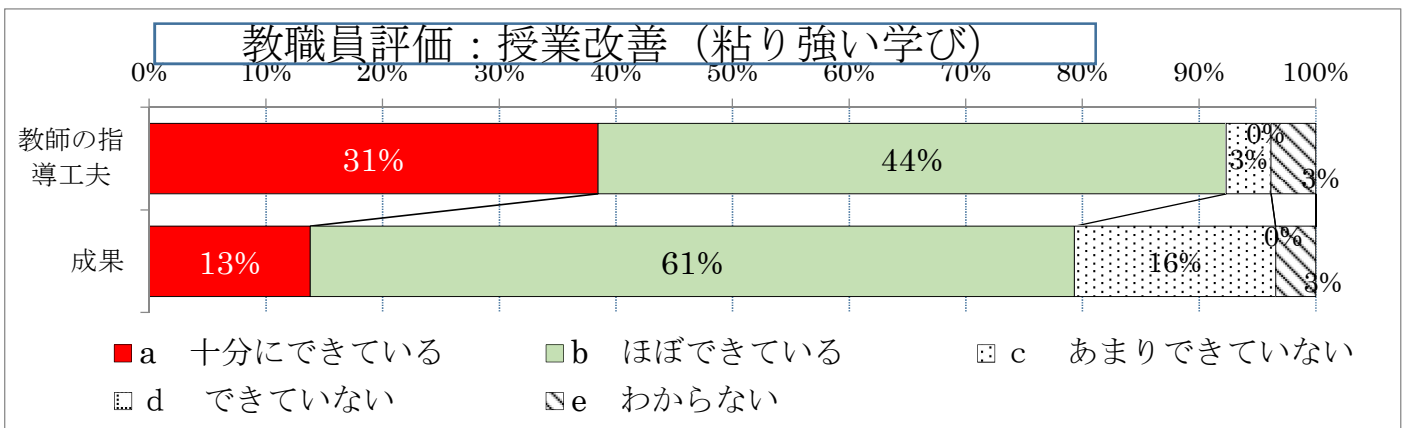


考察6

「早寝・早起き・朝ごはん」「体を鍛える」については、家庭での働き掛けもあり、「あまりできていない」「できていない」が昨年度よりも減っています。体を鍛えようとする児童の意識はまだ足りないと感じて保護者と教職員は考えています。意識して外に出る児童もいるが、なかなか外遊びをしない児童も見受けられます。保護者の自由記述にもありましたが、放課後の外遊びの場所や時間がないことも課題となっているようです。下校時刻を遅くし、校庭で遊んで帰る時間を確保するという点について検討中です。

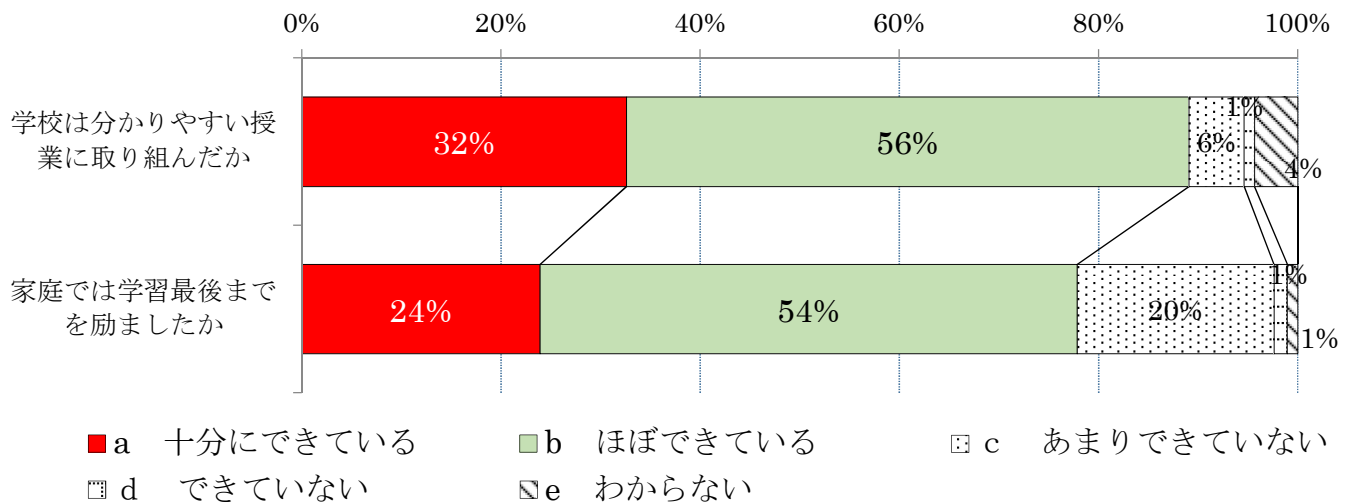
●粘り強く学習する子どもを育てることについて

教職員の自己評価



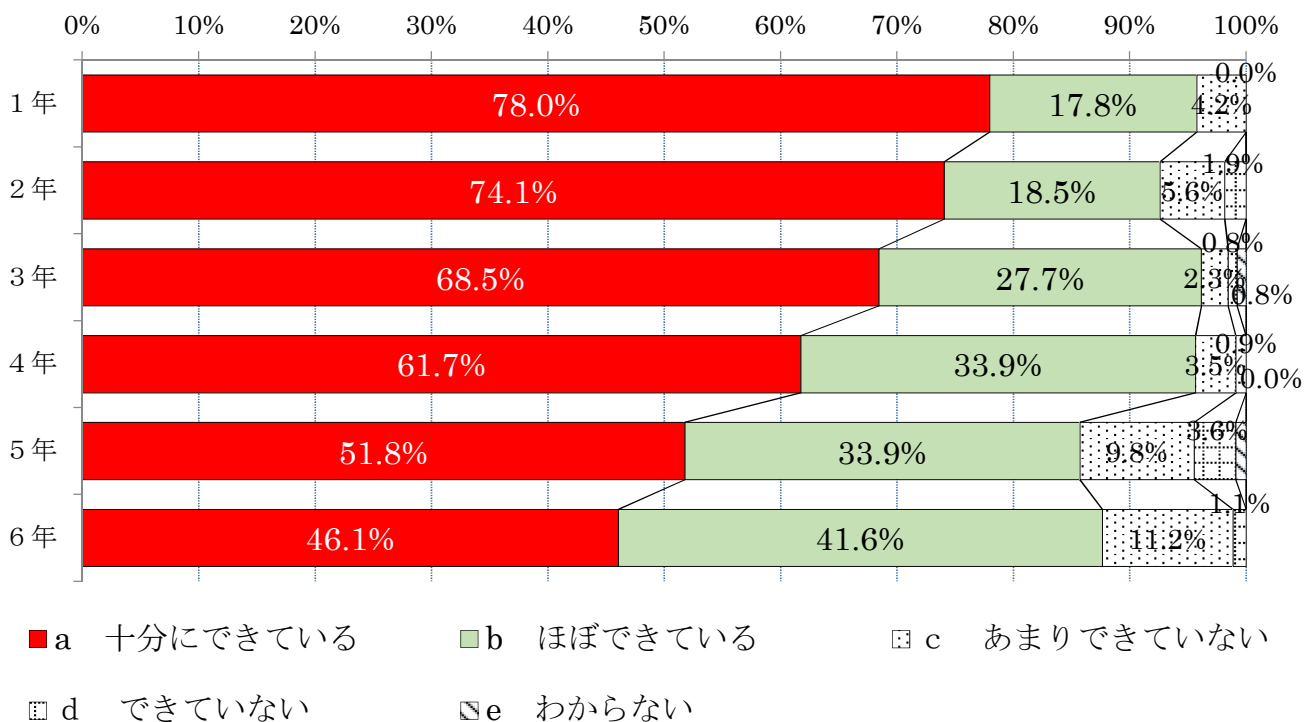
【職員で授業に関わらない業務の場合「わからない」回答が含まれています】

家庭学習（粘り強く学習できるように分かりやすい授業・家庭



児童の評価

学校の勉強が分かるように最後まで頑張って取り組んだ

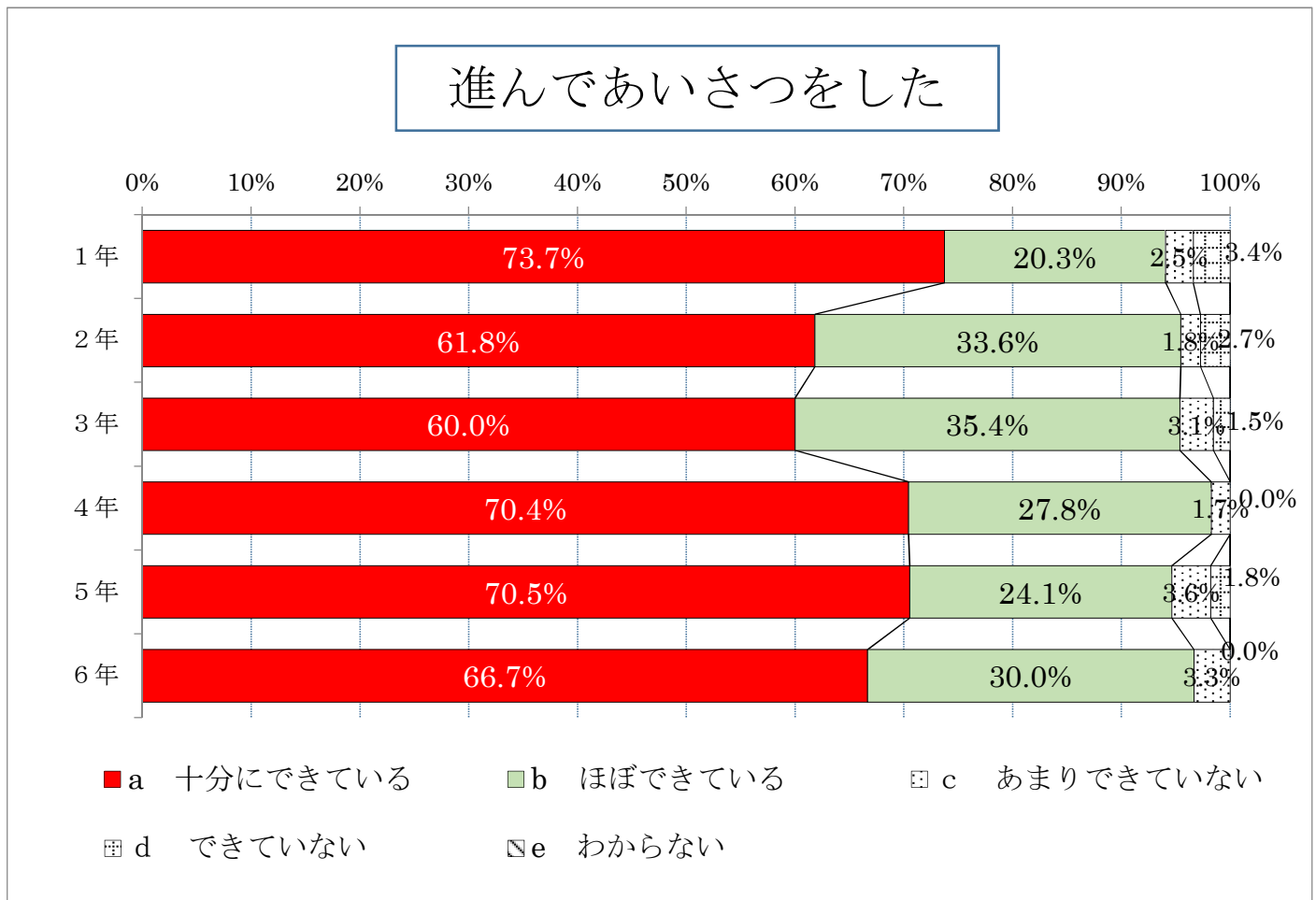


考察7

教職員は、確かな学力が身に付くよう、さらに最後まで諦めずに課題に取り組んでいけるよう、授業を工夫してきました。特に基礎学力になる算数では、少人数指導や個別指導なども行ってきました。しかし、まだ諦めずに課題に取り組むことには課題が残ります。児童の評価を見ても、本来は、高学年になるほど進んで学習する時間が増えていくべきですが、本校では、学年が上がるにしたがって、家庭学習の意識が低くなっています。引き続き指導の改善が必要なが求められていると感じています。ご家庭でも、最後まで頑張るよう励ましていただけたらと思います。

今年度の重点目標の1つ挨拶について

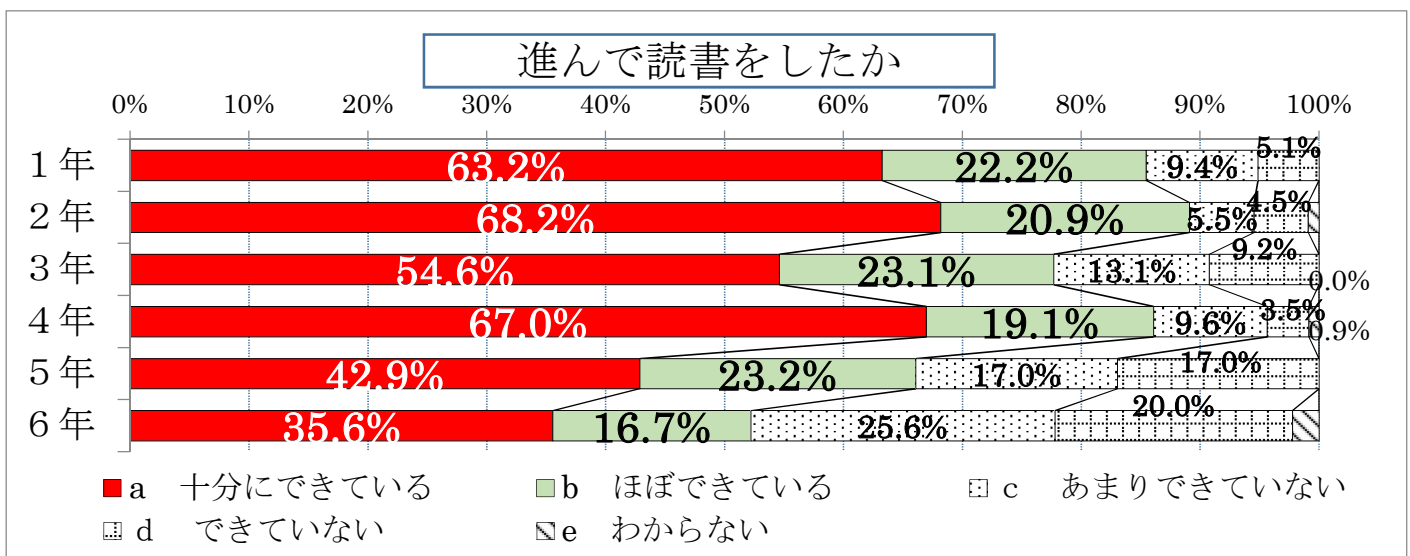
児童の評価



考察8

子どもたちは、今年もあいさつをしようがんばっていたことが分かります。保護者の評価も67%と高評価でした。しかし、自由記述にもみられるように、挨拶をしているのはまだ一部の児童である可能性がぬぐえません。朝の交通安全指導や地域のボランティアさんにも挨拶をしない子供もまだ見られるようです。職員たちも同様に認識しており、まだ十分ではないと評価しています。

●読書習慣について



考察9

学校での様子を見ていると、特定の子供たちが図書室に通っているための数なので軽減は不確かです。しかし、昨年と比べると全体的に読書量が減っているのが分かります。多くの児童に多様な本と出会わせるためにも、読み聞かせボランティアなど学校地域支援本部ができれば実施していきたいと思います。

自由記述に対する回答（全部ではありません。ご了承ください）

朝の交通指導の時の子供たちのあいさつが少なすぎる。自分から進んであいさつしてくれる児童が少ない。

●児童評価で分かるように、子供たち自身は「あいさつをしている」と思っているが、自由記述で数名の方から「自分から進んであいさつしていない」と評価が寄せられました。教職員も「まだ足りない」と思っていますので、来年もあいさつについては、引き続き指導を工夫していきます。保護者の皆様も進んで子供たちに挨拶や声掛けをしてみてください。

・他学年のふれあいタイムがあり、子どもとても楽しみにしている日ですが、いつも同じ学年ばかり触れ合うのでは同じ学校にいるのにとっても残念に思います。・・・

●職員会議でも検討しましたが、下学年ほど同じ組み合わせでないと他学年の人を覚えられないというのが現状です。しかし、回を重ねていくうちに仲良くなっていく姿があります。そうしたことから、今年度と同様の計画になります。

・帰宅時間の呼び掛け（遅くまで遊んでいる子がいてよく注意してます）

●生徒指導部で朝会で全体指導を行い、各学級でも指導を続けています。来年度も生徒指導部・全職員でも呼び掛けしていきます。ご家庭でもお子さんにお声かけください。

・不審者対策が不十分に思う箇所が玄関です。

●夏場でない期間は昇降口のドアを閉めるよう、児童も教職員も意識していこうと思います。

授業参観等の保護者参加の行事の際の保護者同志の私語の多さが毎回非常に気になっています。（入学当初から）

●PTA だよりなどに記載してもらおうなど、ご協力をいただきたい由を伝えていきます。

縄跳びなどの体力作りや外の活動を多くしてほしいと思います。

●「体を鍛える」の項目でも記載いたしましたが、「下校時刻を遅くする：校庭で遊ぶ時間確保」について検討しています。また、体育委員会では「大縄大会」や「ドッジボール大会」などを企画し、子供たちが休み時間も楽しみながら体力をつけるように工夫しております。来年度も工夫し取り組んでいきます。

アンケートへのご協力をありがとうございました。自由記述については、教職員全員で、すべて読ませていただきましたが、抜粋したもののみ回答させていただきました。また、記載はいたしませんでしたが、学校や教職員に対する温かい励ましのお言葉もいただいております。心から御礼申し上げます。いただいたご意見を生かしながら、保護者や地域の皆様と手を携えて28年度も子供たちの健やかな成長のために、教職員一同頑張っていきます。

校長 佐藤 朗

